

西暦 2021 年 2 月 14 日 第 1 版

## 血中亜鉛濃度と術後合併症の関連性に関する研究

## に診療情報を利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取り除くことができない場合がございますので、ご了承ください。

## [研究課題名]

血中亜鉛濃度と術後合併症の関係性の解析

研究代表者 九州医療センター 原口 明久

## [当院の研究責任者]

整形外科 太田 昌成

## [研究の背景]

微量元素は生体内にごく少量含まれる元素ですが、免疫細胞の分化・分裂に影響を与えることが知られています。そのため、微量元素(亜鉛：Zn、セレン：Se)が不足すると感染症にかかりやすくなる可能性が示唆されています。また、関節リウマチ(RA)患者は健常人と比べて血清 Zn、Se 濃度が低いことも報告されており、RA 患者に潜在的に存在する低 Zn 血症や低 Se 血症は術後創部感染症のリスクファクターである可能性が示唆されます。

## [研究の目的]

整形外科手術を受ける患者の血清 Zn、Se 濃度と術後合併症との関連性を明らかにする

## [研究の方法]

## ●対象となる患者さん

整形外科手術を受ける患者さんで、西暦 2019 年 4 月 1 日から西暦 2022 年 3 月 31 日の間に術前に血中亜鉛やセレン濃度を計測し、整形外科手術をうけた患者さん

## ●研究期間：倫理委員会承認日から西暦 2025 年 3 月 31 日

## ●利用するカルテ情報

西暦 2019 年 4 月 1 日から西暦 2023 年 3 月 31 日までのカルテ情報を使わせていただきます。

カルテ情報：患者背景(身長、体重、疾患活動性、服薬歴)、採血結果(Zn、Se、Alb、T-chol、WBC、Ly%)、手術記録(手術内容、出血量、輸血の有無、手術時間)、術後合併症の有無(創部感染症、創傷治癒遅延など)

●情報の管理

情報は、研究代表者機関である九州医療センターにて集計、解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、学会や学術雑誌で発表するときは個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

九州医療センター 整形外科 太田 昌成

810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700